

としょかん宇治

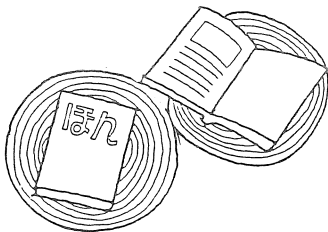
No. 33

1994年9月1日発行
宇治市中央図書館
〒611宇治市折居台1-1
0774(20)1511

宇治市東宇治図書館
〒611宇治市五ヶ庄三番割36-5
0774(32)2232

平成5年度の貸出冊数

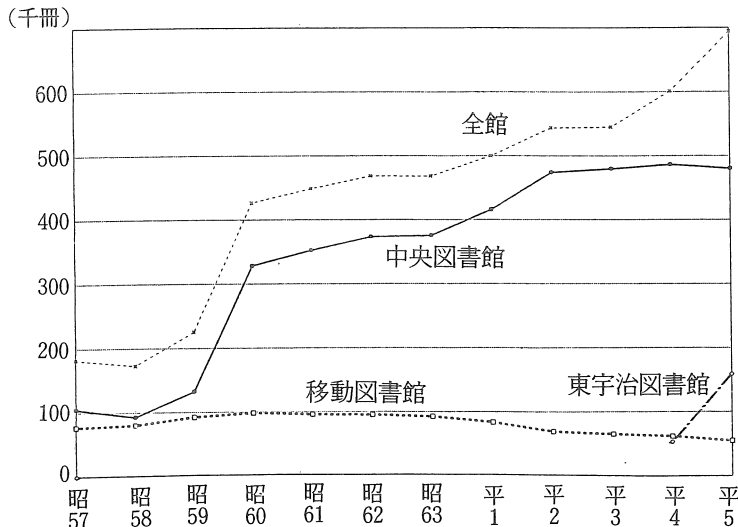
飛躍的に伸びる



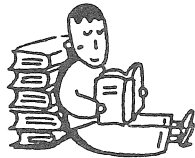
なお、中央図書館は東宇治に分館が開館したためかなりの減少が予想されましたが、四八万〇二四五冊と前年の約六千冊減にとどまりました。これは一昨年の四七万九八五五冊より多く、中央図書館の貸出は東宇治図書館の開館による影響を受けませんでした。これは東宇治図書館の開設によって、東宇治地域で新しく読書需要を掘り起こしたこ

平成五年度の貸出総数は、六九万三九〇五冊となり、前年度より九万三〇〇六冊、率にして一五パーセントも増加しました。これは平成四年秋に開館した東宇治図書館が、昨年度は年間を通して貸出を行い、一五万八九〇九冊と、前年を約一〇万冊上まわったためです。

年度別貸出冊数の推移



とを意味しています。一方、移動図書館は五万四七五一冊にとどまり、前年より七〇四〇冊、一三パーセント減少しました。東宇治地域の巡回ステーションを中心に減っており、この地域の利用者が東宇治図書館を利用するようになったためと考えられます。



平成5年度 よ く 読 ま れ た 本

利用回数のトップは吉本ばなの「キッチン」。
 10位の中に、吉本ばなと内田康夫の作品が4作品ずつ入っています。
 「ノルウェイの森」は根強く'88より連続ランキング。
 外国文学ではシドニィ・シェルダンの作品がずらりと並んでいる中で、「ワイルド・スワン」は現在最も予約が多く人気を博しています。
 予約されている方、しばらくお待ち下さい。

< 成 人 書 >

日本文学			利用回数	文学以外			利用回数
1	キッチン	吉本ばなな	179	1	磯野家の謎	東京サザエさん学会	104
2	若狭殺人事件	内田康夫	112	2	清貧の思想	中野孝次	62
3	ノルウェイの森 上・下	村上春樹	108	3	美智子さまと皇族たち	河原敏明	49
4	鐘	内田康夫	106	4	手ぬいでできるおかさんと子どもの袋物	高橋恵美子	44
4	白河夜船	吉本ばなな	106	4	焼きたてのパン作り	島津睦子	44
6	哀しい予感	吉本ばなな	103	< 児 童 書 >			
7	薔薇の殺人	内田康夫	102				
8	つぐみ	吉本ばなな	94				
8	坊ちゃん殺人事件	内田康夫	94				
10	ここに地終わり海始まる 上・下	宮本輝	80				
エッセイ				日本の読み物			
1	もものかんづめ	さくらももこ	85	1	謎のズッコケ海賊島	那須正幹	146
2	寄り添って老後	沢村貞子	60	2	ボク、ただいまレンタル中	長崎源之助	128
2	おいしい人間	高峰秀子	60	3	ズッコケ結婚相談所	那須正幹	121
4	さるのこしかけ	さくらももこ	57	4	大当たりズッコケ古い百科	〃	119
5	母の言いぶん	高森和子	53	5	かぎばあさんの魔法のかぎ	手島悠介	118
外国文学				外国の読み物			
1	血族 上・下	シドニィ・シェルダン	113	1	エルマーと16ぴきのりゅう	ガネット	128
2	真夜中は別の顔 上・下	シドニィ・シェルダン	98	2	エルマーのぼうけん	〃	94
3	明け方の夢 上・下	シドニィ・シェルダン	97	3	黒い島のひみつ	エルジェ	85
4	マディソン郡の橋	ロバート・ジュース・ウォラ	78	4	エルマーとりゅう	ガネット	79
5	時間の砂 上・下	シドニィ・シェルダン	70	5	モモ	エンデ	75
6	スカーレット	アレキサンドラ・リブリー	68	絵本			
7	ワイルド・スワン 上・下	ユン・チアン	62	1	バーバピカリのとけいやさん	アネット・チゾン	225
8	ゲームの達人 上・下	シドニィ・シェルダン	57	2	バーバパパのだいサーカス	〃	173
9	明日があるなら 上・下	シドニィ・シェルダン	48	3	バーバパパのがっこう	〃	147
10	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	47	3	バーバパパのジュースづくり	〃	147
				5	11ぴきのねことあほうどり	馬場のぼる	142

※ 上・下本は合計を2で割った回数

図書館へようこそ

利用者インタビュー

第20回

加賀山 たかし 孝 さん



今回は、郷土史の学習や文化財愛護の活動に参加されるかたわら、「毎日三時間は読書にあてています」とおっしゃる明星町にお住まいの加賀山孝さん（七十九才）にお話を伺いました。

☆図書館はよく利用されますか
市民図書室のころから一五年位利用しています。移動図書館「そよかぜ号」でも借りますし、最近では東宇治図書館へよく行きます。
☆お借りになる本はどの様にして

選んでおられますか

「新しく入った本のご案内」をもらったら、全部ひととおり目を通し、すべての分野から片寄らない様に読みたい本を選びます。それから、図書館へ電話で予約申し込みをします。

☆今までに読まれた中で、特に印象に残る本がありましたら……

瀬戸内寂聴さんの「美は乱調にあり」と宮尾登美子さんの「建礼門院和子の涙」です。作者が時代背景などをよく調べて、時間をかけて構想をねられたことがうかがえ感心しました。こういう本は、充分味わって大切に読まないともったいない気がします。

☆図書館へのご感想を……

市内のどの図書館でも親切に対応していただき気持ちよく利用しています。東宇治図書館は、こじんまりしていて、整理も行き届いていいですね。中央図書館は、照明が暗く、ちょっと座って本を読む椅子が少ない様に思います。

☆「読書」について一言どうぞ

人にものを聞くことが難しい今日、自分で知識を求めするために必要であり、成人の方にはストレス解消、老人の方にはボケ防止に有効であると信じてお薦めします。
☆どうもありがとうございました。

今年も相次ぐ図書館見学

社会科ではじめて図書館について学習する小学三年生の児童が、今年も市内各校から見学に来られました。人数は中央図書館、東宇治図書館、移動図書館「そよかぜ号」の駐車場を合わせて十八校約千七百名（複数個所見学含む）になりました。みんな職員の説明を熱心に聞いて、興味あふれる様子で頼もしい限りでした。活発な質問も続出、答える職員もたじろじろという場面もありました。見学を機に子供たちが、より図書館に親しみ、これからもどんどん利用してくれるよう期待しています。

「環境の本」図書展示

六月五日から「すてきな地球—環境を考える本」をテーマに二



折々 NEWS

十八日まで図書展示をしました。これは、世界環境の日（六月五日）と、府環境月間（六月）にちなんだもので、環境に關した本を今年は見学書と一般書のコーナーであわせて約五百冊の展示をしました。



「すてきなちきゅう」図書展示

今年で五回目の図書展示となりましたが、本のページをめくりながら「おかあさん、フロンガスが地球のオゾン層をこわすんだよ」などと得意そうに教えている子供さんなど、ほほえましい光景をよく見かけました。また利用も多く病みかけている地球について考えるよいきっかけになったようです。

▼お知らせ▲

○宇治市図書館協議会 二号 委員交代（四月一日付）

新・西堀あき子

旧・竹中武彦

宇治市連合育友会の役員改選に伴うものです。

○宇治市中央図書館長異動

（六月一日付）

新・小山雄一

旧・石沢誠司

郷土のはなし

庵寺山古墳

大久保小学校の東約六百メートルのところに、こんもりした小高い山がありますが、これは庵寺山古墳という遺跡で、裾部の一部は公園になっています。この付近には坊主山古墳や一本松古墳などがあり、いずれも久津川古墳群の一つとされています。この古墳に、庵寺山と名付けられたのは、江戸時代、近くに熊耳庵(ゆうじあん)という寺があったためでしょう。

ところで、この古墳の発掘調査は古く、今から五十年前の昭和十九年に京都大学考古学研究室が行っています。この時には大型の蓋形(きぬがさがた)埴輪や靴形(ゆきがた)埴輪をはじめ小型の家形埴輪、鱒(ひれ)付円筒埴輪など

およそ二百点ほど発見されました。これらの資料は、現在でも京都大学文学部博物館に大切に保管されています。その後、昭和四十八年に城南高校地歴部が測量の調査を行い、また昭和五十年には宅地造成にともない庵寺山古墳周陸発掘調査会が墳丘裾部の調査を行っています。そして平成元年に、宇治市教育委員会が墳頂部を調査し、円筒埴輪や朝顔形埴輪など多数発見されました。

このような調査から、この古墳についてさまざまなことが分かってきました。古墳の築造年代は、四世紀後半であること、古墳の形は円墳で、大きさは直径五十六メートルもあり、円墳としては南山城でも最大級であること、周りには堀がめぐらされていたこと、埋葬者は、この地域を支配していた比較的有力な豪族と推定されること、などです。

庵寺山古墳



(1) 古墳近影 (北から)



(2) 古墳近影 (南から)

しかし、これだけの調査が行われましたが、残念ながらまだまだ本格的な調査は実施されていません。今後調査が進むにつれ、この地域の歴史や当時の人々の生活ぶりが、少しずつ、明らかになっていくことでしょう。

本をかりるには

一 利用案内一

- ・市内にお住まいの方、市内に通勤通学されている方などなたでも1人5冊、かりられます。
- ・貸出券は、中央図書館・東宇治図書館・移動図書館の共通券です。

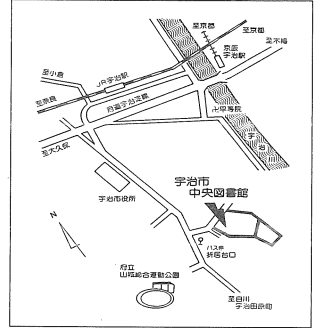
中央図書館・東宇治図書館

- ・貸出期間は、3週間です。
- ・開館時間は、9時～17時です。
- ・休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

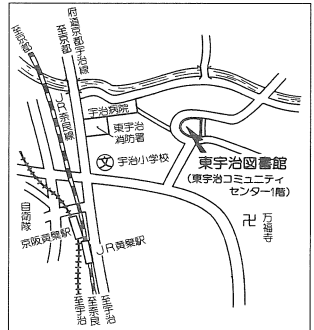
移動図書館〔そよかぜ号〕

- ・月に市内25カ所を巡回しています。
- ・日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。
- ・次回巡回日に返却して下さい。

中央図書館



東宇治図書館



編集後記

中央図書館の雑誌が、六年度より、五タイトル増え、全部で九十タイトルになりました。雑誌架も表紙が見える新しいタイプのものになり、どんな雑誌があるか一目でわかり利用者の方には大変好評です。

日本は年間十四億冊の書籍と四十七億冊の雑誌が出版される世界、有数の出版国であるそうですが、若者の活字離れは進行中で、中学生以上になると一年間に一冊も読まなかった人が四割を越えているとか——今号では「よく読まれた本」をとりあげています。お子様や友だちに『読書の楽しみのおすそわけ』をしてみたいかがでしうか？

日本は年間十四億冊の書籍と四